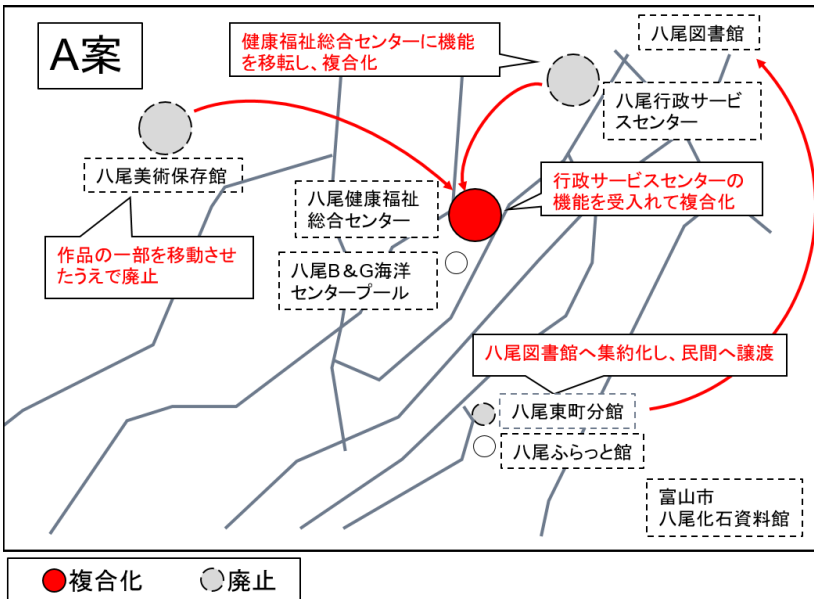


(1) 八尾地域にお住まいの皆さま全員が利用する施設 (=地域施設) の再編案

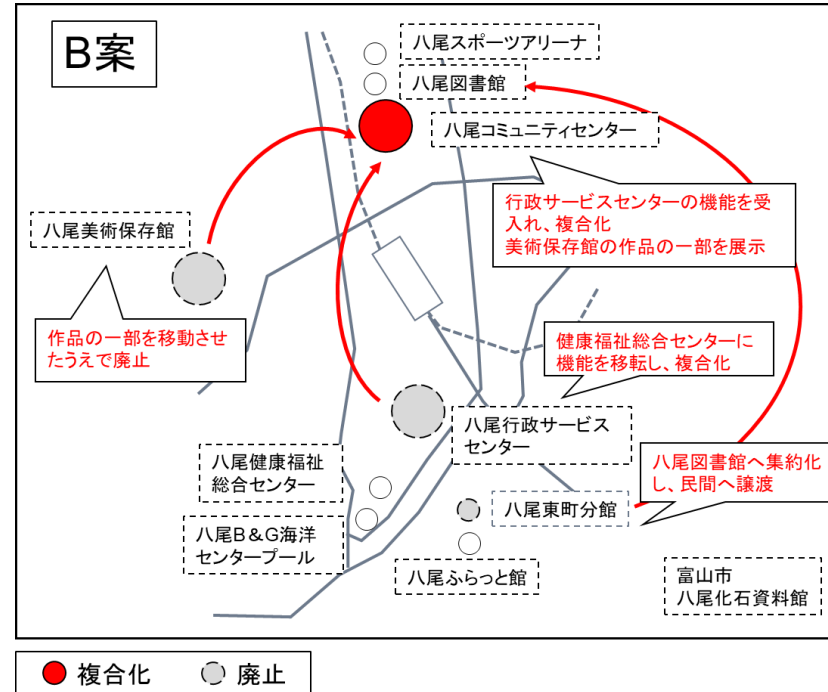
A案：行政機能の拠点形成を図るプラン

- 行政サービスセンターの機能を健康福祉総合センターに複合化し、合わせて美術保存館の作品の一部を展示
- 図書館東町分館があった場所は、民間への売却や賃貸等で公益以外での活用を図る



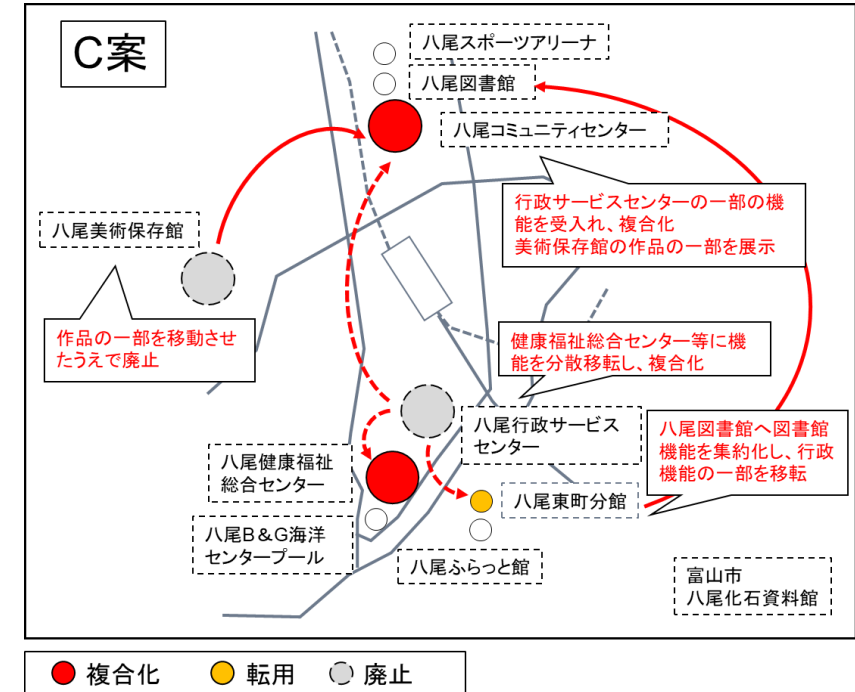
B案：地域の多機能拠点を形成するプラン

- 行政サービスセンターの機能(福祉を除く)を八尾コミュニティセンターに複合化し、合わせて美術保存館の作品の一部を展示
- 図書館東町分館があった場所は、民間への売却や賃貸等で公益以外での活用を図る



C案：行政機能を分散して確保するプラン

- 行政サービスセンターの機能を八尾コミュニティセンター、健康福祉総合センター、ふらっと館に分散して配置
- 八尾コミュニティセンターに美術保存館の作品の一部を展示



長所

- アクセスのよい、八尾地域のほぼ中心に拠点ができる
- 市民サービスのワンストップ化が図られる
- 洪水の浸水想定区域外に立地している

課題

- 行政機能のみの集約となり、他の機能との複合化が図られない
- 人口の多いエリアと拠点の立地が整合していない

長所

- 人口の多い八尾地域北部に拠点が形成される
- スポーツアリーナや図書館等、多様な機能との複合化が図られる

課題

- 福祉部門は健康福祉総合センターにあるため、ワンストップ化が図られない
- 洪水発生時の浸水想定区域内に行政サービスセンターが立地する
- 八尾地域南部からアクセスが悪くなる

長所

- 災害発生時等の行政機能のリスク分散が図られる
- 改修等の施設整備費の負担が少ない

課題

- 分散配置により市民サービスのワンストップ化が図られない
- 分散配置となるため、拠点性が向上しない
- 運営コストが大きくなる

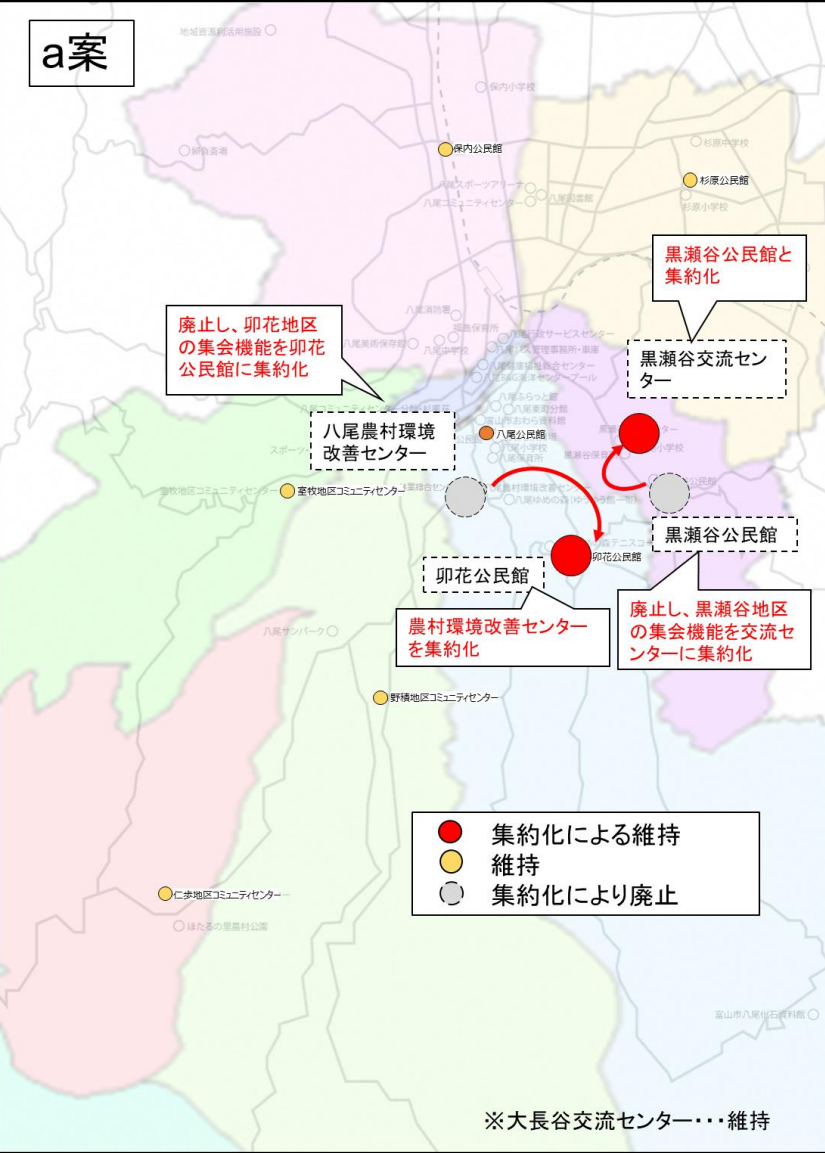
A案、B案、C案
共通の内容

- ：八尾東町分館は八尾図書館に集約化する
- ：ほたるの里農村公園は地元または民間への譲渡、もしくは廃止する
- ：化石資料館や美術保存館は、資料等をより多くの人に見てもらえるよう、来館者の多い施設(科学博物館等)での展示を図った上で廃止する
- ：杉風荘は地域の活性化に資するよう地元または民間への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止する

(2) 各地区にお住まいの方が利用する施設（地区施設）の再編案

a案：集会施設を地区の中心側に集約化するプラン

- 八尾農村環境改善センターを廃止し、卯花地区の集会機能を卯花公民館に集約化する



長所

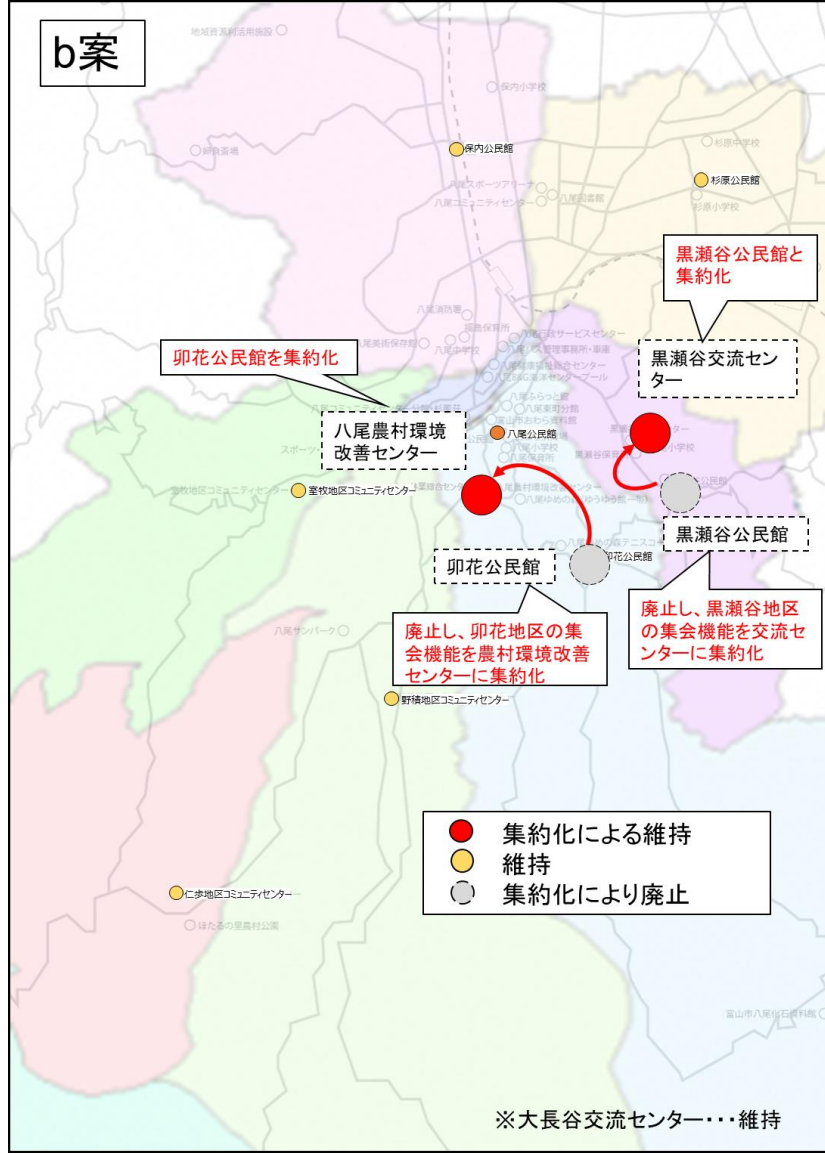
- 卯花公民館は地区のほぼ中心となる
- 卯花公民館は農業環境改善センターに比べバリアフリー化がなされている
- 現在公民館として供用しており、諸室等の改修が軽微

課題

- 八尾地域の中心から離れる

b案：集会施設を地域の中心側に集約化するプラン

- 卯花公民館を廃止し、卯花地区の集会機能を八尾農村環境改善センターに集約化する



長所

- 卯花公民館と比べ、八尾地域の中心に近い

課題

- 不足する諸室の改修が必要となる
- 卯花公民館と比べてバリアフリー化がなされていない
- 増築したコミュニティセンター部分の空間を持て余すことになる

A案、b案共通の内容

○：黒瀬谷公民館を廃止し、黒瀬谷交流センターに集約化する

(3) 各再編案の評価項目（案）

提示された案（必要の応じ、次回までに再編案を修正します）について、次回のワークショップで庁舎・課題について比較検証を行います。比較検証はこれまでに議論された8つの視点で行います。

視点	評価項目（案）	評価方法（案）
①地域性の考慮	● 9つの地区の特色を活かしたきめ細やかなまちづくりと公共施設整備が図られているか。	地区施設の配置で評価
	● お祭りや地域の行事がこれまで通り実施できる配置となっているか。	お祭り（おわら風の盆）関連施設の配置で評価
	● 山や川で地域が分断されていることに配慮し、アクセス性が維持されているか。	地域施設（行政サービスセンター）の配置で評価
②地域資源の活用	● 地域にある公共施設を地域資源として、再度見直し、一層の活性化が期待できるか。	公共施設の複合化、集約化により評価
	● 伝統文化を保存継承する施設が維持・存続される案となっているか。	お祭り（おわら風の盆）関連施設、美術保存館、化石資料館の立地状況で評価
	● 公共施設など地域資源を集約させ、集客、回遊性向上、相互利用促進などを狙い、地域の活性化に資する案となっているか。	公共施設の配置で評価
③地域コミュニティの維持	● それぞれの地区の地域行事の場や活動拠点が確保されているか。	地区施設の配置で評価
④子育て環境の充実	● 公共施設の整備・活用を通じて地域全体で子育て環境を充実させる。	子育て関連機能により評価
	● 既存施設や学校のグラウンドを子供の遊び場や市民のスポーツ活動の場として活用できるか。	公共施設の活用の方針で評価
⑤安全性の確保	● 避難所を地区ごとに必要なだけ確保されているか。（民間施設を含む）	避難所の配置で評価
	● 避難所は安全性が確保されているか。	避難所の安全性で評価
	● 危険が予測される河川やがけ地などの近傍への配置を避けるよう配慮されているか。	地域施設（行政サービスセンター）の立地で評価
⑥機能性・利便性の向上	● サービスの集約化を図り、利便性が高まっているか。	公共サービスの集約化により評価
	● スポーツ施設・観光施設を整理し、新しい施設を整備したり、改修により再生することで集客、利便性向上が期待できるか。	スポーツ施設・観光施設の機能により評価
⑦運営の工夫	● （運営の工夫は再編後の地元住民、民間、市の取組みを通じて実現するものであるため、再編案の比較検証の項目としては対象外とする。）	—
⑧将来負担の軽減	● 将来コストが縮減できているか。	将来コストで評価